“平成31年4月 三重大学工学部は新たな体制になります”

三重大学工学部を取り巻く環境は、材料・エネルギー・メカトロニクス・IoT関連・化成品・化学工業・防災減災など、極めて裾野が広く多岐にわたっています。そこで、専門分野の深い知識と同時に工学共通の幅広い知識・情報関連技術を有する人材を育てることを目的に、平成31年4月から新たな体制になります。

Point 改組のポイント

1 工学部全体を1学科（総合工学科）とし、専門分野ごとのコース制を導入

- 工学共通基礎教育として、数学、物理、情報、CSR教育※等のコア科目を設定し、原理・原則を理解する力、工学共通の幅広い知識を身につけます。
- すでに進むべき進路が明確な学生にはより具体的に、志望分野を検討中の学生には最適な選択の可能性を提供し、コース終了後に進路が柔軟に描けることを可能にします。

※CSR 教育：工学倫理、知的財産教育

2 学部修士一貫コースの設定

- 4年次から、複数の工学分野が融合した研究領域での教育・研究活動を通じ、広い視野と異分野とのコミュニケーション能力を持つ人材を育成します。
- 卒業研究に代わる長期インターンシップや地域企業と連携した海外インターンシップの活用により、問題発見・解決力、課題探究力、先端技術を取り込む力を育成します。

改組前（6学科）

定員：400名
3年次編入：30名

- 機械工学科　定員：80名／3年次編入：10名
- 電気電子工学科　定員：80名／3年次編入：10名
- 分子素材工学科　定員：100名
- 建築学科　定員：40名／3年次編入：10名
- 情報工学科　定員：60名
- 物理工学科　定員：40名

新体制 2019年度 1学科5コース 総合工学科

定員：400名
3年次編入：30名

- **機械工学コース**　1年次：80名程度　2年次：90名程度　3年次以降：100名程度（うち3年次編入10名）
- **電気電子工学コース**　1年次：90名程度　2年次：100名程度　3年次以降：110名程度（うち3年次編入10名）
- **応用化学コース**　1年次：90名程度　2年次以降：100名程度
- **建築学コース**　1年次：40名程度　2年次：45名程度　3年次以降：55名程度（うち3年次編入10名）
- **情報工学コース**　1年次：60名程度　2年次以降：65名程度

総合工学コース　1年次：40名程度（2年次以降は5コースのうち、いずれかを選択）

2年次コース分け配属目安
- 機械工学コース・・・・・・・10名程度
- 電気電子工学コース・・・10名程度
- 応用化学コース・・・・・・・10名程度
- 建築学コース・・・・・・・・・・5名程度
- 情報工学コース・・・・・・・・5名程度

1年次 定員：400名 → 2年次 定員：400名 → 3年次 定員：400名 → 4年次 3年次編入：30名

総合工学コース　総合工学コースを新設します。総合工学コースは、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供することを目的として設置され、1年次に他のコースよりも必修科目を多く学び、工学部共通の基礎的知識を修得する中で自分の適性を捉え、2年進級時に専門分野のコースを決定します。

学部修士一貫コースの導入

- 広い視野を持ち、問題を発見・解決する能力を持った人材の育成を図るため、学部修士一貫コースを新たに設定します。
- 大学院への進学希望者のうち、学部修士一貫コース履修者の選抜を3年修了時に行います。通常の大学院進学希望者の選抜試験よりも早い時期に選抜を行うことで、4年次からの複合的な工学分野での研究活動を可能にします。

＊学部修士一貫（3+3）コース＊

- 機械工学コース　1年次配属目安：80名　2年次以降配属目安：90名（3年次編入：10名）／機械工学専攻　定員：55名　→ 学部修士一貫コース うち定員：28名
- 電気電子工学コース　1年次配属目安：90名　2年次以降配属目安：100名（3年次編入：10名）／電気電子工学専攻　定員：55名　→ 学部修士一貫コース うち定員：27名
- 応用化学コース　1年次配属目安：90名　2年次以降配属目安：100名／分子素材工学専攻　定員：55名　→ 学部修士一貫コース うち定員：28名
- 建築学コース　1年次配属目安：40名　2年次以降配属目安：45名（3年次編入：10名）／建築学専攻　定員：21名　→ 学部修士一貫コース うち定員：10名
- 情報工学コース　1年次配属目安：60名　2年次以降配属目安：65名／情報工学専攻　定員：30名　→ 学部修士一貫コース うち定員：15名

1年次 定員：400名 → 2年次 定員：400名 → 3年次 定員：400名 → 4年次 3年次編入：30名 → 5年次 → 6年次　定員：216名

総合工学コース うち配属目安：40名

学部修士一貫コース（3+3） うち定員：108名

- 総合工学コースは1→2年次進級時に専門分野のコースを決定
- 3→4年次進級時に学部修士一貫コースを選抜一貫コース生は4年次から研究領域に所属
- 学部卒業が5年次への進級条件卒業研究の代わりに長期インターンシップを履修可能

長期インターンシップについて

- 三重大学工学部では、民間企業での実体験を修士課程での研究や、その後の就職活動に役立ててもらうため、長期インターンシップを4年生の選択科目に導入します。
- 大学院工学研究科修士課程に進学する4年生が対象で、卒業研究を行うか、長期インターンシップを履修するかのどちらかを選択します。

＊長期インターンシップの概要＊

長期インターンシップの目的

▶問題発見・解決力、課題探求力、先端技術を取り込む力、およびコミュニケーション能力等を身に付けるために、民間企業や各種研究所等で責任ある社員・所員の立場で就業体験（通常のインターンシップに比べ、大きなテーマ・未知な課題に対して長期間取り組む体験）を行い、将来の職業選択の際に役立てます。

具体的内容

▶長期インターンシップは事前研修、研修中、事後研修の3期間から構成されます。

1）事前研修：インターンシップ説明会／事前研修会に参加
2）研　修　中：受入れ先にて、実働30日間（例えば、週2日×15週）以上の就業体験
3）事後研修：成果最終報告会でのプレゼンテーション及び報告書の作成

学部修士一貫コースにおける長期インターンシップの位置付け

▶学部修士一貫コース生は、4年次に選択必修科目として「卒業研究」か「長期インターンシップ」のいずれかの科目を選択します。
▶「卒業研究」または「長期インターンシップ」の単位取得を5年次進級要件とし、5年次進級者には学士（工学）の学位が授与されます。

★詳細は三重大学工学部HPをご確認下さい
http://www.eng.mie-u.ac.jp/